

ステップ4

早めの避難!

ポイント

- 1 自ら判断
- 2 避難の呼び掛けに注意
- 3 助け合いが大切



避難する際は、隣近所で声を掛け合い、お互いに助け合いましょう。

自主防災組織で地域を守る!

地域の方々や関係機関との連携を強化し、一人も逃げ遅れることがないように、これからも継続して訓練を重ねながら避難を呼び掛けていきたいです。

平成30年の台風第24号による浸水被害をきっかけに、梅雨期前の昨年5月に消防や警察などの関係機関の協力を得て、初めて避難訓練を実施しました。訓練を実施した後、すぐに豪雨に見舞われ、地域が浸水しましたが、避難訓練を実施していたおかげで、早めに防災行政無線で避難を呼び掛けることができました。高齢者宅などの見回りも住民同士で連携をとり、逃げ遅れがなく、人的被害を防ぐことができました。



永和町内会
ほしはら かつのぶ
星原 克信 会長



出前講座で防災について考えよう!

町内会やグループ単位で申し込みができます。

●講座名

- ・家庭でできる防災対策と自主防災組織

●内容

- ・鹿屋市防災マップを使って家庭でできる防災対策
 - ・「共助」の中心となる自主防災組織の役割
- ※避難訓練や図上訓練等の支援も行います。



私たちがわかりやすく説明します!

市安全安心課 Tel. 0994-31-1124

ステップ3

避難の準備!

ポイント

- 1 非常持出品や備蓄品を準備
- 2 行動計画を作成



避難所に避難する際は、最低1日分の食料や飲料水などを持参してください。

非常持出品

非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

- 非常食 ○飲料水 ○常備薬・お薬手帳
- 洗面道具 ○貴重品(通帳・保険証・印鑑 など)
- 現金 ○筆記用具 ○携帯電話・充電器
- 衣類 など



▲新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや体温計もお忘れなく。

▲家族構成に合わせた準備も必要です。

備蓄品

災害により水道や電気が止まった場合に備えて、自宅や避難所で過ごすための必要最低限の備蓄をしましょう。

- カセットコンロ・カセットボンベ
- ポリタンク ○ラップ
- トイレットペーパー
- 紙皿・紙コップ・割りばし など



使いながら備蓄する ローリングストック法で常時保存

普段から少し多めに食品や加工品を買っておき、使った分だけ新しく買い足し、常に一定の量を備蓄しておく方法です。(飲料水、レトルト食品、缶詰など)



行動計画を作成

行動計画を作成することで、いざという時にあわてずに行動できます。

災害に備えて、家族で「いつ・だれが・どう行動する」ということを考えて行動計画を作りましょう。



避難準備開始



移動開始



避難所等

$$\text{避難準備にかかる時間} + \text{避難先までの時間} = \text{避難にかかる時間}$$